

2019 年度カンボジア活動報告

期 間：2019 年 8 月 22 日～23 日

場 所：プノンペン

参加者：小久保 謙一（国際委員会）、瀧澤 亜由美（国際委員会）、安部 貴之（国際委員会）、栗原 佳孝（国際委員会）、川西 秀樹（あかね会 土谷総合病院）、兵藤 透（倉田会 えいじんクリニック）、山下 明泰（法政大学）、若井 陽希（麗星会 品川ガーデンクリニック）、櫻井 健治（橋本クリニック）、土谷 健（東京女子医科大学）、内田 潤次（大阪市立大学）、花房 規男（東京女子医科大学）、植田 敦志（筑波大学附属病院 日立社会連携教育研究センター）、伊東 稔（清永会 矢吹病院）、前田 兼徳（兼愛会 前田病院）、中倉 兵庫（北辰会 有澤総合病院）、長沼 俊秀（大阪市立大学）、西出 峻治（大阪市立大学）、山口 一行（大阪市立大学）、崎山 亮一（大阪工業大学）、北島 幸枝（東京医療保健大学）、阿部 奈津美（麗星会 品川ガーデンクリニック）、海老原 慧（麗星会 品川ガーデンクリニック）、今井 勝（麗星会 品川ガーデンクリニック）、加藤 亜輝良（倉田会 えいじんクリニック）

Japanese Assistance Council of establishing Dialysis specialists system in Cambodia (JAC-DSC) 主催の The Intensive Seminar of Dialysis, Renal Transplantation, Clinical Engineering, and Diet Therapy for Diabetes Mellitus and Chronic Kidney Disease in Cambodia 2019 への講師派遣の協力および水質調査を実施した。

2015 年より年に 1 回、カンボジアの医学生および若手医師に対し、JAC-DSC が中心となって、いつでもどこでも血液浄化インターナショナル、JSTB 国際委員会などが協力して、透析関連の集中講義を実施している。2019 年も 8 月 22 日～23 日の 2 日間で集中講義が実施された。各分野に精通した日本人講師を 27 名（うち JSTB の国際委員は 4 名）派遣し、講義を実施した。最終日にはテストを行い、上位 3 名を日本での研修に招待する来る予定となっていた。現在、COVID-19 の影響で日本での研修は保留となっている。

また、8 月 24 日に開催された The 4th Annual Conference of Cambodian Association of Nephrology “Nephrology in Cambodia, One Step Forward” に出席した。日本からは櫻井健治先生がオンライン HDF に関

する講演、花房規男先生が日本透析医学会の統計調査に関する講演、土谷健先生が CKD-MBD に関する講演、内田潤次先生が腎移植に関する講演を行った。日本以外には、タイ、インドなどの先生から講演があった。

水質調査については、カンボジアのプノンペンにあるカンボジア日本友好血液浄化センター（センソク国際病院内にある 2010 年日本の支援により設立された血液浄化センター）、および市内の 2 施設の計 3 施設にて、RO システムの見学と RO システムおよび透析装置の ET 値および生菌数測定を実施した。カンボジア日本友好血液浄化センターに関しては、カンボジア滞在時に毎回訪問し、ET 値および生菌数測定を実施しているが、その他の 2 施設については今回初めての測定となった。

全ての施設において、その場で ET 値の測定結果を用いて、自施設の水質の現状を説明し、透析液清浄化の重要性についてのレクチャーを実施した。

また、以前より訪問しているカンボジア日本友好血液浄化センターのスタッフに対しては、SHEETCHECK-R2A による生菌数測定の方法を実践的にレクチャーした。

